

大谷大学における新型インフルエンザの感染の確認について

8月3日（月）、本学国際文化学科第1学年の学生6名が、新型インフルエンザに感染していることが判明いたしました。また簡易検査の結果、その他、別々の学科・学年の学生5名も新型インフルエンザ（A型）の疑いがあることが判明いたしました。

北保健所と対応について協議をした結果、国際文化学科第1学年には、集団感染の疑いがあるとみなし、以下のとおり対応することとなりましたのでご報告いたします。

1. 経過

➤2009年8月1日（土）

- ・8月1日（土）、国際文化学科第1学年の学生2名より、簡易検査の結果、陽性反応ありとの第一報。
- ・同日夕刻、北保健所からも連絡がはいる。
- ・行動をともにしていた学生に連絡を入れ、病院での受診を勧めた結果、あらたに国際文化学科第1学年2名が簡易検査で新型インフルエンザ感染の疑いがあることが判明。
- ・国際文化学科第1学年全学生に注意喚起の連絡を入れる。

➤2009年8月2日（日）～3日（月）

- ・他の国際文化学科第1学年2名の学生から、簡易検査の結果、新型インフルエンザの疑いがあることが判明したと連絡が入る。
- ・その他、別々の学科、別々の学年の学生5名からも、新型インフルエンザの疑いがあるという検査結果を受けたとの連絡が入る。

➤2009年8月3日（月）

- ・北保健所との打ち合わせ。同日17:00、PCR検査の結果、国際文化学科第1学年の学生2名について、陽性反応が出たとの連絡が正式に入る。

2. 対応

北保健所と対応について相談。「国際文化学科第1学年で新型インフルエンザの集団感染が発生した」とみなすと判断し、大学としての対応をとることとした。

- ・8月4日（火）～6日（木）まで、「振替授業実施期間」となっており、集団感染とみられる国際文化学科第1学年の授業については、すべて休講措置をとることとした。
- ・その他の科目については、集団感染とみなされず、休講など、特別な措置をとる必要がないとの意見をいただき、十分注意を喚起した上で、授業を実施することとした。

以上

詳細は、別添資料又はホームページ (<http://www.otani.ac.jp/>) をご確認ください。

＜お問い合わせ先＞
大谷大学 企画課【岡田】
TEL. 075-411-8115